

問1 （20点）

勉強するという場が、それを活用する場から乖離してしまっていること。あるいは、情報が知識として活用される場を想定しないままに、単なる情報として教え込まれているということ。(82字)

問2 （20点）

知識としての価値とは、得られた情報を単に詰め込むのではなく、その情報を現実生活の中で知識として引き出し、活用することである。一方で、しまわれたままの情報は価値としてはゼロと言える。(90字)

問3 （60点）

私は筆者の見解に賛成である。学び考える姿勢を持つことで、想定外の場面に直面したとしても、考える力によってその局面に対処していくことができると考える。自分の持つ知識を増やそうとすることで、常に考える姿勢や考える力が自然と身に付くのである。

例えば、地震に備えての防災訓練の場合を考える。この防災訓練に定期的に参加し地震による災害や地震そのものについての知識を増やそうとすることで、常にこれについて考える姿勢が身に付き、実際に地震が起きても、それによって得た考える力で、これまでに私たちが経験しなかった地震災害にも対処できると考える。

知識は増やすだけでなく、その知識をどのように活用していくのかを考えることが大切である。「知の体力」とは、動員できる矢数を多く持つことであり、そのために常に学び考える姿勢を忘れないことだと私は考える。

(363字)